

幅広い層に楽しめる“日本伝統楽器の調べ”

# 東儀秀樹 トーク&ライブ with 東儀典親

日本の伝統楽器の可能性を無限大に広げ、ロックやポップスなどジャンルの垣根を飛び越えながら、雅楽の世界に新風を吹き込む“東儀秀樹”と同じ道を進む息子“東儀典親”によるトーク&ライブ。

一部は、“狩衣”を来た本格的な雅楽の演奏、二部は、ピアノやギターを使った解りやすく楽しいライブです。

なかなか聴く機会の少ない“笙（しょう）”や“箏（ひちりき）”といった楽器とその雅な音、そして、東儀親子の楽しいおしゃべりに乗せた演奏をお楽しみ下さい。



楽 曲 案

<一部：狩衣> ◆越天幻想曲 ◆光り降る音 ◆三つ星

<二部：洋装> ◆JUPITER ◆ハナミズキ ◆アメイジンググレイス

◆クイーンメドレー ◆ピアノ即興演奏 他

※一行人数4名～ 1ステージ90分（休憩15分含）

## ～構成案～



### <一部>

狩衣を着て、客席から登場。

美しい衣装と神秘的な笙(しょう)の音色でオープニングです。天から差し込む光を現す“笙”、天と地の間、空を翔ける龍の鳴き声を現す“龍笛”、地上にこだまする人の声を現す“箏篋”と音源を使用して、会場を幻想的な世界に誘います。

【楽曲案】 ♪越天楽幻想曲 ♪光り降る音 ♪三ツ星  
♪浜辺の歌 他



### <二部>

一変して洋装で登場、ピアノ・ギターの弾き語りになります。お客様とのやり取りで即興曲の披露や楽しいトークを繰り広げます。現代音楽の中で、笙、龍笛、箏篋も演奏します。

【楽曲案】 ♪JUPITER ♪星に願いを  
♪ピアノ即興演奏 ♪枯葉 ♪ムーンリバー  
♪誰も寝てはならぬ ♪揚げば尊し 他

### ～東儀秀樹 プロフィール～

1959年、東京生まれ。

東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家。

父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、ロック、クラシック、ジャズ等あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長。

高校卒業後、宮内庁楽部に入り、箏篋(ひちりき)を主に、琵琶、鼓類、歌、舞、チェロを担当。

宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。

一方で、ピアノやシンセサイザーとともに雅楽の持ち味を活かした独自の曲の創作にも情熱を傾ける。

1996年、デビューアルバム「東儀秀樹」で、脚光を浴び、以後次々とアルバムをリリース。

日本レコード大賞企画賞、讀賣演劇大賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞等、数多くの賞を受賞。

2015年、3月、新譜「日本の歌」発売。6月、「東儀家の子育」を発売。

現在、皇學館大學特別招聘教授、上野音大、名古屋音大、池坊短大、大正大学、國學院大の客員教授を務める。

また、乗馬、クレー射撃、バイク、クラシックカーレース参戦、ダイビング、陶芸、ギター、世界の民族楽器の収集、イラスト、写真、マジックなど幅広い趣味人としても知られている。

### ～東儀典親 プロフィール～

2006年、奈良時代から1300年にわたり雅楽を世襲してきた東儀家に生まれる。  
笙、舞、ギター、歌、作曲。

2019年、9月、仁和寺音舞台が初舞台。

12月 サントリー1万人の第九出演。

2020年、1月、東儀秀樹と舞楽「登殿楽」共演。(サントリーホール)

3月、Richesse リシェス(ハースト婦人画報社)掲載。

8月、東儀秀樹オンラインコンサート Vol.2 出演。

11月、沼津御用邸記念公園開園50周年記念スペシャルコンサート。

「東儀秀樹の素晴らしき仲間たち」出演。日本テレビ「有吉ゼミ」出演。

2022年、6月、マガジンハウス「POPEYE Web」にて、週1回連載掲載。

7月、BOTTEGA VENETA 表参道旗艦店1周年を記念したプレオープンイベントにて演奏。

2025年、1月、テレビのバラエティ番組「ぼかぼか」に親子で出演。

今後の活動が注目を集めている。